



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所 東
コード番号 3600 URL <https://www.fjx.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 一郎
問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)松尾 勇治 (TEL)075(463)8111
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,505	5.8	20	—	52	—	52	—
2023年3月期第1四半期	1,423	7.1	△54	—	△32	—	△27	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 185百万円(△6.6%) 2023年3月期第1四半期 199百万円(156.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 38.13	円 銭 —
2023年3月期第1四半期	△20.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第1四半期	百万円 11,115	百万円 9,580	% 79.6
2023年3月期	10,917	9,464	80.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 8,852百万円 2023年3月期 8,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 50.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,149	8.6	3	—	46	—	32	—	23.58
通期	6,145	7.0	△89	—	20	—	△7	—	△5.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)一、除外 一社(社名)一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	1,468,093株	2023年3月期	1,468,093株
2024年3月期1Q	91,445株	2023年3月期	91,425株
2024年3月期1Q	1,376,652株	2023年3月期1Q	1,376,668株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
(収益認識関係)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行されるなど、様々な制限の緩和が進んだことにより、人流やインバウンド需要も回復傾向が続き、経済活動の回復が鮮明になりましたが、一方で資源価格や円安基調に伴う諸物価の上昇が続き、日本の消費者の生活防衛意識も高まるなど、個人消費の先行きは不透明です。

当社グループが関わるアパレル・ファッション業界は、コロナ禍での減産の反動や消費の回復により、衣料品の生産は総じて増加傾向が続き、当社グループの衣料用縫い糸の受注も回復傾向が続きましたが、昨年の中国・上海地域におけるロックダウンによる事業停止の様々な後遺症が響いて、中国販売子会社の受注の回復は遅れております。

また、手芸関連業界は、巣ごもり消費からお出かけ消費への移行や生活防衛意識の高まりにより、消費の低調が続きました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、円安傾向に伴う為替換算レートの影響があったにもかかわらず、1,505百万円（前年同期比5.8%増）にとどまりました。

一方利益面につきましては、エネルギーや原材料価格を始め、製造コスト全般の高止まり傾向が続いているものの、昨秋以降に実施した国内販売価格の改正や日本セグメントの売上増加による増益要因に加えて、当社における販売品目構成の変化や工場操業度の上昇なども寄与し、営業利益は20百万円（前年同期は54百万円の損失）、経常利益は52百万円（前年同期は32百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は52百万円（前年同期は27百万円の損失）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

日本

当社グループにおきましては、当第1四半期連結累計期間は、当社の2023年4月から6月まで、国内子会社の2023年2月から4月までの業績が連結されております。

当四半期は、上述の通り、マスク着用の緩和や新型コロナウイルス感染症の5類への移行を始め、様々な制限の緩和により、外国人観光客の増加も含めた人流の回復で経済活動の回復も鮮明になりました。また、衣料品消費は、インバウンド需要も含めてまだら模様ながら回復傾向が続き、コロナ禍での生産調整の反動もあって、生産は増加傾向となり、衣料用縫い糸の受注も回復傾向が続きました。

また、自動車生産台数の回復により、カーシート向けなど、車両内装用縫い糸の受注も増加しましたが、手芸関連業界におきましては、巣ごもり消費がお出かけ消費に移行したことや、諸物価上昇による節約意識の高まりもあって、消費の低調が続きました。

これらの状況に加えて、昨秋以降に実施した縫い糸全般の価格改正も増収要因となり、当セグメントの売上高は1,227百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

一方、利益面につきましては、エネルギーや原材料価格を始め、製造コスト全般の高止まり傾向が続いているものの、昨秋以降に実施した国内販売価格の改正や当セグメントの売上増加による増益要因に加えて、当社における販売品目構成の変化や工場操業度の上昇なども寄与し、セグメント利益は27百万円（前年同期は59百万円の損失）となりました。

アジア

当セグメントに属する全ての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第1四半期連結累計期間は、2023年1月から3月までの業績が連結されております。

当四半期は、上述の通り、コロナ禍での生産調整の反動や消費の回復に伴い、日本向け衣料品の生産は増加傾向となりましたが、中国におきましては、昨年の中国・上海地域のロックダウンやゼロコロナ政策転換後の感染急拡大などで、日本向け衣料品の生産が、日本に回帰、またはベトナムを始め近隣アジア諸国などへ移行するなど、ロックダウン期間中の販売機会損失だけでなく、中国のコロナ禍による様々な後遺症が今なお続いていることで、当セグメントで販売の中心となっている中国販売子会社の受注の回復が見られず、円安傾向に伴う為替換算レートの影響があったにもかかわらず、当セグメントの売上高は、278百万円（前年同期比10.2%減）となりました。

また、利益面につきましても、製造コスト上昇の販売価格への転嫁が困難であったアジア地域の状況に加えて、中国販売子会社の減収も響いて、セグメント損失は10百万円（前年同期は6百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて197百万円増加し、11,115百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の減少111百万円があったものの、受取手形及び売掛金の増加90百万円、電子記録債権の増加43百万円、投資有価証券の増加139百万円などがありました。

負債は、前連結会計年度末に比べて80百万円増加し、1,534百万円となりました。主な増減は、買掛金の増加36百万円、その他（固定負債）の増加38百万円などがありました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて116百万円増加し、9,580百万円となりました。主な増減は、その他有価証券評価差額金の増加96百万円、為替換算調整勘定の増加32百万円などがありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間における事業環境の変化を勘案し、2023年5月15日に公表しました2024年3月期の連結業績予想を修正しております。詳しくは本日別途公表しました、「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,660,522	2,549,366
受取手形及び売掛金	1,125,222	1,215,232
電子記録債権	229,780	273,336
棚卸資産	2,678,504	2,710,350
その他	59,687	93,659
貸倒引当金	△2,936	△1,781
流動資産合計	6,750,780	6,840,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,880,948	1,859,982
その他(純額)	709,814	697,468
有形固定資産合計	2,590,762	2,557,450
無形固定資産		
その他	207,476	207,696
無形固定資産合計	207,476	207,696
投資その他の資産		
投資有価証券	1,094,977	1,234,103
その他	273,775	275,790
投資その他の資産合計	1,368,752	1,509,893
固定資産合計	4,166,992	4,275,040
資産合計	10,917,772	11,115,205
負債の部		
流動負債		
買掛金	436,217	472,931
未払法人税等	16,751	10,860
賞与引当金	43,843	20,726
その他	177,415	206,406
流動負債合計	674,227	710,924
固定負債		
役員退職慰労引当金	226,073	230,145
退職給付に係る負債	51,076	53,023
資産除去債務	32,788	32,788
その他	469,552	507,567
固定負債合計	779,490	823,525
負債合計	1,453,718	1,534,450

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	771,087	771,087
利益剰余金	6,057,393	6,040,973
自己株式	△109,313	△109,342
株主資本合計	7,642,493	7,626,042
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	412,272	508,909
為替換算調整勘定	698,158	730,389
退職給付に係る調整累計額	△13,982	△13,125
その他の包括利益累計額合計	1,096,448	1,226,173
非支配株主持分	725,112	728,538
純資産合計	9,464,054	9,580,755
負債純資産合計	10,917,772	11,115,205

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	1,423,559	1,505,687
売上原価	1,083,994	1,089,323
売上総利益	339,564	416,363
販売費及び一般管理費	393,799	396,346
営業利益又は営業損失(△)	△54,234	20,017
営業外収益		
受取利息	2,151	2,228
受取配当金	15,866	18,769
賃貸料収入	5,996	6,075
売電収入	3,248	2,876
その他	3,814	6,812
営業外収益合計	31,076	36,761
営業外費用		
賃貸料収入原価	2,545	2,601
売電費用	1,501	1,023
その他	5,596	535
営業外費用合計	9,643	4,160
経常利益又は経常損失(△)	△32,801	52,619
特別利益		
固定資産売却益	549	—
特別利益合計	549	—
特別損失		
固定資産売却損	137	—
特別損失合計	137	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△32,389	52,619
法人税、住民税及び事業税	5,898	12,130
法人税等調整額	△3,894	△4,612
法人税等合計	2,004	7,518
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△34,393	45,100
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,762	△7,396
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△27,631	52,497

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△34,393	45,100
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,574	96,636
為替換算調整勘定	208,550	43,224
退職給付に係る調整額	2,268	857
その他の包括利益合計	233,393	140,719
四半期包括利益	199,000	185,819
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	157,737	182,222
非支配株主に係る四半期包括利益	41,262	3,597

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,113,477	310,082	1,423,559	—	1,423,559
外部顧客への売上高	1,113,477	310,082	1,423,559	—	1,423,559
セグメント間の内部売上高 又は振替高	74,554	46,598	121,153	△121,153	—
計	1,188,031	356,680	1,544,712	△121,153	1,423,559
セグメント損失(△)	△59,025	△6,981	△66,007	11,772	△54,234

(注) 1 セグメント損失の調整額11,772千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,227,332	278,355	1,505,687	—	1,505,687
外部顧客への売上高	1,227,332	278,355	1,505,687	—	1,505,687
セグメント間の内部売上高 又は振替高	87,892	195,556	283,449	△283,449	—
計	1,315,225	473,911	1,789,136	△283,449	1,505,687
セグメント利益又は損失(△)	27,794	△10,861	16,932	3,084	20,017

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額3,084千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。